

第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 進捗評価表（計画期間：令和6年度から令和8年度）

1 計画の評価方法

市では、本計画に基づく各種の施策やその効果について、本計画に沿って十分に達成されているかどうか、別紙「進捗評価表」により、年に2回（上半期終了後と年度終了後）評価を行っています。

具体的には、主な施策について指標及びそれに対する目標値を設定し、第一に、この指標における目標値を達成しているかどうかを確認します。

しかし、各施策においては、指標以外の事柄も重要であることに加え、設定した指標のみで評価することになると、指標以外の取組が十分に鑑みられない可能性もあることから、指標以外にも考慮すべき取組などがある場合は、設定した指標の達成度合いを踏まえつつ、それら指標以外の取組も適宜勘案して評価を行います。

また、年度終了後の評価においては、各施策について、達成（○）、一部未達成（△）、未達成（×）の3段階で評価します。評価内容については、所沢市高齢者福祉計画推進会議において報告し、委員の御意見等を踏まえ、改善につなげていくものです。なお、指標の設定に当たっては、施策の指標を数値で確認でき、その達成度合いを明確に測ることができるものを用いています。

2 計画書における各種施策と評価指標

計画書における各種施策		計画書該当頁	指標有無	指標設定数
基本目標1	自立した生活を継続するための取組の推進	43-68	○	10
	介護予防・健康づくりの取組	47-61	○	9
	いきがづくり・社会参加の促進	62-68	○	1
基本目標2	住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるための取組の推進	69-112	○	5
	在宅で安心して暮らし続けるための取組	73-82	○	1
	認知症と共生する社会の実現に向けた取組の推進	83-91	○	2
	在宅医療・介護連携の推進	92-95	○	2
	介護者の負担軽減	96-100		
	状態に応じた住まいや施設の整備 高齢者関連施策の実施による住みよいまちづくり	101-110 111-112		
基本目標3	地域の課題を解決するための体制づくり	113-126	○	3
	地域課題・資源の把握、解決策の検討	117-121	○	2
	担い手の養成と地域資源の開発	122-124		1
	地域の支え合い活動の促進	125-126		
基本目標4	介護保険制度の安定的な運営	127-156		3

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
1 介護予防・健康づくりの取組 (介護予防の普及啓発)	49	<介護予防の普及啓発の 目標 その1>	現在、健康づくりや 介護予防のために、 運動や趣味の習い 事をしている人の割 合	64.5%	63.3%	アンケートを対象者30, 435人へ送付し、回答票 16,947人分に基づき集 計を行った。 対象者:70歳以上の 偶数年齢で、要支援・要 介護認定を受けていない 方 回答者のうち、評価項目 該当者数10,728人	健康づくりや介護予防のため に運動や趣味の習い事をして いる人の割合は目標未達であ った。回答者には介護予防事 業のチラシを同封し、「お達者 倶楽部」や地域資源情報サイ ト「トコまっぴ」 健康相談等の周知を図ってい る。 介護予防教室等に参加した人 数は目標未達であった。地域 包括支援センター主催の介護 予防教室等では、今まであまり 使っていなかったほっとメール 等の周知媒体を活用し広く周 知を図ったものの、目標の参 加者数に達しなかった。引き 続き周知を強化するとともに 、予防教室の内容について、民 間事業者の教室事業などの 情報収集と共有を行い、参加 者のニーズや地域の健康課題 に即して多様な内容を取り上 げて質を高めていく。
	49	<介護予防の普及啓発の 目標 その2>	介護予防教室等の 参加者数	2,100人	1,770人	(内訳) ・介護予防教室(地域包 括支援センター分) 1,770人	

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
2 介護予防・健康づくりの取組 (住民主体の介護 予防活動の育成・ 支援(地域の通いの 場の充実))	52	<住民主体の地域の通いの場(1)~(3)の目標 その1> [補足(通いの場)] (1)ところん元気百歳体操 (2)お達者倶楽部 (3)その他の地域の通いの場	住民主体の地域の通いの場の数	129か所	130か所	[内訳] ・ところん元気百歳体操 79か所 ・お達者倶楽部 44か所 ・地域サロン 7か所	住民主体の地域の通いの場の数と参加者数については、年度目標に達している。しかし、お達者倶楽部においては、高齢化により廃止する団体もあり、新規の立ち上げはあるが全体数が増えない状況が続いている。現在、新規立ち上げの動きがある通いの場もあるため、引き続き立ち上げに向けた支援を行っていく。 また既存の団体に対しても、引き続き理学療法士による支援や生活支援コーディネーター等と連携し、活動をサポートしていく。
	52	<住民主体の地域の通いの場(1)~(3)の目標 その2> [補足(通いの場)] (1)ところん元気百歳体操 (2)お達者倶楽部 (3)その他の地域の通いの場	介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の参加者数	6,070人	5,559人	[内訳] ・ところん元気百歳体操 1,279人 ・お達者倶楽部 863人 ・地域サロン 103人 ・その他地域包括支援センターが把握している通いの場 3,314人	

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
3 介護予防・健康づくりの取組 (高齢者の健康に関する取組)	56	<健康に関する相談窓口等の周知、体制の推進の目標>	随時対応による相談件数(65歳以上)	565件	634件	健康相談窓口を周知する「ご相談は保健センターへ」のチラシの配布や関係機関での配架等の協力を得ながら積極的に周知を図った。	気軽に誰でも健康に関する相談ができる窓口として、また個々に合った相談ができる場として、積極的に周知を図った。その結果、利用者が増え目標を達成した。インターネットの普及等により情報は得やすくなっているが、今後必要な方に活用してもらえよう周知に努めていく。
	57	<食を通じた健康づくりについての取組の目標>	介護予防栄養教室の参加者数	205人	153人	楽しく健康食教室(全6回コースと修了生の集い)参加者数	食や健康を見直す意識を高める「楽しく健康食教室」の参加者数は目標を下回った。一方で、栄養教育に加えて口腔や保健の講話、体操実技、試食を行う「すこやか栄養教室」を実施した。新たにまちづくりセンター8か所で開催することで、初めて参加する方が増加した。教室参加により食生活の見直しの機会になること、バランスの良い食生活が健康寿命の延伸に重要であることについて、周知啓発を行うことができた。引き続き、普及啓発に取り組んでいく。
	58	<特定健康診査の受診率向上に関する目標>	特定健康診査の受診率	60%	30.3% 暫定値 (R8.3.26 現在)	・受診勧奨ハガキ発送 1回目(11月18日) 9,582通 2回目(12月17日) 20,147通 ・合同健診勧奨通知発送 (12月17日) 3,361通	未受診者勧奨については、前年度受診率の暫定値を踏まえ、年度当初の計画から一部内容を変更し実施した。勧奨ハガキの仕様を変更したことに加え、がん検診との合同健診を新たに実施したことは、市民サービスの点においても評価できる。

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
3 (続き) 介護予防・健康づくりの取組 (高齢者の健康に関する取組)(続き)	59	<後期高齢者健康診査の受診者数向上に関する目標>	後期高齢者健康診査の受診者数	17,600人	13,185人 暫定値 (R8.3.31 現在)	5月28日に対象者53,067人に受診券を発送した。	年度当初の計画に即して遂行できている。 目標歩数は達成できなかったが、強化月間や、マイレージ事業の参加者に市独自ポイントを付与する事業など、平均歩数増加への取組により、参加申込者数は令和8年3月末で10,458人で県内1位となっている。 また、新規参加のきっかけづくり及び継続参加者へのインセンティブとして、市内対象店舗で使用できる「お食事券」を市独自景品とし、令和8年3月末に当選者1,400人へ発送した。
	59	<健康への関心が低い人へもアプローチする仕組みづくりの推進の目標>	健幸マイレージ事業参加者の1日平均歩数	8,000歩	6,185歩	平均歩数増加のため、令和7年10月～12月にウォーキング促進強化月間を実施した。その結果、期間中の平均歩数は、実施前の9月と比べ、405歩多い16,382歩となった。	引き続きSNSを活用して、より広く取組について周知し、歩くことを中心とする健康づくりを推進していく。
4 いきがいづくり・社会参加の促進	67	<長生クラブの活動支援の目標>	長生クラブ数の維持	53団体	45団体	令和7年4月1日時点 会員数 2,300人	単位長生クラブ数の減少については、高齢化による役員のなり手不足等の要因がある。会員増加に資するよう、令和8年度に向けて補助金事業の見直しを行った。

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
5 在宅で安心して 暮らし続けるための 取組 (緊急時に備えた 支援体制)	81	< 救急医療情報キットの配布の目標 >	救急医療情報キット の累計配布本数	19,450本	19,127本	[参考] 累計配布本数 令和4年度:17,352本 令和5年度:18,067本 令和6年度:18,605本	広報・ところバスで周知した10・3 月は申込が増えたが目標には達 しなかった。 令和8年度以降も、周知(イベント 時の配布・ほっとメール配信等) に力を入れ、配布本数の増加に 繋げていきたい。
6 認知症と共生す る社会の実現に 向けた取組の推 進	86	< 認知症初期集中支援 チームの運営・活用の推進 の目標 >	認知症初期集中支 援チームの訪問支援 実人数	40人	45人	初回訪問実人数を計上。	認知症初期集中支援チームにつ いては、目標値を上回る訪問活 動が実施された。引き続き、個々 の支援の質を確保しながら支援 を行っていく。 認知症サポーター養成講座につ いては、積極的な周知を実施する ことにより受講者数を増やすこと ができ、目標達成となった。キャ バン・メイト養成研修を市主催で も開催し、講座開催の体制の強 化を図った。引き続き学校や企業 での開催など、開催場所を増やせ るよう工夫して受講者数の増加を 目指す。
	89	< 認知症サポーターの養成 と活動の支援の目標 >	認知症サポーター養 成講座受講者数(延 べ人数)	31,500人	32,320人	開催回数 52回 受講者数 2,201人	○

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
7 在宅医療・介護連 携の推進	94	<在宅医療・介護連携の推 進の目標 その1>	在宅療養に関する情 報を周知する件数	6,000件	9,750件	(内訳) ・市民向け講演会参加者 数 158人 ・冊子等配布部数 1,927部 ・HP閲覧数 6,285件 ・動画セミナー視聴数 1,148件 ・医師による人生会議セ ミナー参加者数 177人 ・講座等の参加者数 55人	「在宅療養に関する情報を周知 する件数」については、HPのリ ニューアルにより利便性等の向上 を図ることで、HP閲覧数が増加 し、昨年度から実施している「医 師による人生会議セミナー」で は、周知のタイミング・方法を改 善したことで1回あたりの参加人 数が増加した。また、冊子等の配 布について、市民が手にとる機会 の拡大のため、市内28件の医療 機関に冊子の配架協力を依頼し た(配架先での配布数の管理が 困難なため、実績値には反映して いない)。 ○
	95	<在宅医療・介護連携の推 進の目標 その2>	絆ネットところ活用人 数 1か月平均実利用 人数	320人	398人	多職種間の情報共有 ツール「絆ネットところ」の 1か月平均実利用人数	「絆ネットところ活用人数」につ いては、専門職による会議や研修 の場等において連携ツールとして 紹介してきたこともあり、目標値 を達成した。

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
8 地域の課題を解決するための体制づくり	120	<生活支援コーディネーター・協議体の目標 その1>	第1層と第2層の情報共有のための会議開催回数	6回	6回	第1層・第2層生活支援コーディネーターの情報交換会を隔月で6回実施	<p>生活支援コーディネーターの会議については、予定通り実施し、日々の業務での困りごとや有用な情報、市全域の課題であるデジタルディバイドに関する今後の取り組み方やアイデア等を共有した。</p> <p>高齢者の情報格差への対応や地域のつながりづくりのために国の補助金を活用して講師を呼び、スマホ教室、スマホサロン、スマホカフェ、スマホサポーター養成講座等を実施し、すべての地区でデジタルディバイドに関する取り組みを実施した。</p> <p>社会資源については、前年度と比較し15団体の増加となったが、目標を下回る結果となった。</p> <p>担い手の創出のために実施した所沢シニア・アカデミーについては、講座を通して地域活動を「見つけることが出来た」「見つける方法が分かった」と回答した受講者の割合は目標の90%を達成し、受講者を積極的にサポートし、地域の担い手の養成に寄与することができた。</p> <p>引き続き既存団体の支援や新たな社会資源の把握・創出に努めたい。</p>
	120	<生活支援コーディネーター・協議体の目標 その2>	生活支援コーディネーターや協議体の活動を通じて把握する地域における社会資源の数	882件	873件	10月～12月に把握済みの社会資源の現状把握・情報の更新作業を実施 年間を通し、新たな地域資源の発掘・団体支援を実施	
	123	<担い手の養成・発掘と活動の場の確保の目標>	シニア・アカデミーの講座を通し今後につながる地域活動を「見つけることができた」又は「見つける方法がわかった」と回答した受講生の割合	90%	90%	閉講後アンケートに回答した31名のうち、28名が今後につながる地域活動を「見つけることができた」又は「見つける方法がわかった」と回答。 令和7年度参加人数 開講時点:38名 修了時点:31名	

第9期計画の進捗評価表(令和7年度)

施策	計画書 該当頁	評価項目	指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	進捗管理	施策への取組み状況に係る 自己評価
9 介護保険制度の 安定的な運営 (介護給付適正化 の取組)	150	要介護認定の適正化	点検実施率	100%	100%	調査票(委託分を含む)の点検を分担制にすることにより、滞らずに実施した。	○ 介護給付適正化の取組については3項目とも目標を達成できており、介護保険制度の安定的な運用に充分寄与できているものと考えている。
	151	ケアプラン等の点検	点検件数	15件	18件	上半期に2事業所で5件、下半期に3事業所で8件、合計5事業所で13件のケアプラン点検を実施した。 住宅改修と福祉用具購入の点検を計5件実施した。	
	151	医療情報との突合・縦覧点検	点検実施率	100%	100%	令和7年4月～令和8年3月分で6,506件の点検実施(昨年度は年間5,404件)。	